

市民意見募集(パブリックコメント)結果

「消防指令業務共同運用の拡大(案)」に関する市民の皆さんのご意見を募集した結果、3件のご意見をいただきましたので、次のとおり公表します。

■募集案件の概要

募集案件	消防指令業務共同運用の拡大(案)パブリックコメントの実施について
受付期間	令和4年12月9日(金)～令和5年1月10日(火)
ご意見の件数	3件・1名

■ご意見の概要と市の考え方

No	ご意見の概要	市の考え方
1	この度、有田市を加えるとのことですが、有田市は国道や高速道路で海南市と結びつきが強く、共同運用は意義のある事のように思います。しかしながら、有田市は紀中ブロックに属しています。橋本市までの紀北ブロックを充実させることも重要だと思うのですが、それは今後の検討事項ということでしょうか。	ご意見のとおり、紀北ブロックを充実させることは重要だと考えます。 今後更なる消防力の維持・強化のための方策として、消防指令業務共同運用の拡大について検討していく必要があると考えています。
2	令和6～8年度に消防センターの更新時期が集中することを踏まえると、和歌山の更新時期が令和7年だと考えられ、故に令和7年に運用開始予定なのだと思います。とはいえ、できるだけ早い方が良いと思うのですが、更新時期を令和6年等に前倒しは難しいのでしょうか。	指令システムの構築作業には、約1年半～2年の期間が必要とされています。 構築に向けての準備は進めていますが、新指令システムでの運用開始は、最速で令和7年4月からとなります。
3	施設整備費などに要する費用が削減できると書かれていますが、こういった費用なのでしょうか。効率的な人員配置で削減できる費用の具体例を教えてください。	単独事業費(各団体が単独で指令システムを更新した際の事業費)、現4消防本部体制での事業費と比較して指令システムの更新に係る費用負担(整備費及び維持管理費)の面で節約の効果があります。 また、各本部で実施している消防指令業務を指令センターで一括運用(業務集約)すること

		<p>により、指令業務に従事する職員を他の部署に配置するなど効率化を図ることができています。</p> <p>5 消防本部体制に拡大することより、更に指令業務配置職員の効率化による現場配置職員の充実等を図ることができます。</p>
--	--	--